

4月14日 2013(平成25年) 主日礼拝

礼拝開始：午前 11 時

聖餐式



司 会：小木秀夫兄
 奏 楽：米田 香 姉
 おいのり：下岡晶子姉
 さんび：新聖歌 21 (輝く日を仰ぐとき)
 主の祈り
 聖 書：エレミヤ書 29 章 10 ~ 14 節
 (朗読：赤塚孝子姉)
 音 楽：倉知 契 牧師
 メッセージ：「ばら色の将来」 倉知 契 牧師
 さんびと 献金：♪ 新聖歌 233 「驚くばかりの」 1・3・4
 聖 餐 式
 頌 栄：♪ 新聖歌 162 「ハレルヤハレルヤハレルヤ」
 祝 禱
 報 告

【瀬戸ニュース】

- ◇ 教会へようこそ！心からご歓迎いたします。
- ◇ 今週も祈禱会を大切に！
 - 木曜祈禱会：朝10:30
 - 土曜：会堂清掃 10:30～、 11:15～準備祈禱会
- ◇ 宿題(祝大)今週もむさぼるように聖書を読みましょう！
 - Aコース：ルカ 11章～14章
 - Bコース：士師記 20 章～サムエル上 14 章
- ◇ 5月26日 バザーを行います。準備をお願いします。

◇次聖日礼拝奉仕者(2013年4月21日)

[司会：片岡洋一兄、いのり：赤塚孝子姉、聖書朗読：下岡晶子姉]
 [ピアノ：館 姉、 賛美リード：小島 誠 兄]
 [アシスト：鄭 恵真姉 & 小島明美姉]
 [献金：持田樹理姉、受付：加藤由美子姉]
 ◇PA：平松章治兄 ◇週報編集：片岡洋一兄
 ◇ホームページ編集：大神真伸兄

「わたしは、おまえたちのために立てた計画をよく知っている。それは災いではなく祝福を与える計画で、ばら色の将来と希望を約束する。」
 (エレミヤ二十九の十一 リビングバイブル)

だいぶ前の読売新聞「編集手帳」にこんな文章がありました。
 下手な医者に仕える下働きの男が不始末をしでかした。怒った医者が殴ろうとすると、「どうか蹴って下せえ」、男が懇願した。「お前さまの手にかかって助かった者はない」…。なんとも言えない江戸の小話。

先週は、担任牧師として遣わされて最初のメッセージをお届けしました。イエス様の愛の御手に握っていただくと、5つのパンと2匹の魚のような粗末で小さなものも、主は用いてくださり、「腹ごたえあり、手ごたえあり」の人生を送ることができる。主の御手にかかれば安心です。画家デューラーの「祈りの手」を紹介しましたが、ぜひ祈りの課題を書いて受付のポストに出してください。また近況報告や自己紹介のお手紙も歓迎です。早速毎日お祈りしています！

私は、大和に戻ってすぐ日曜日の大川先生のメッセージを聴きました。アメリカ宣教旅行から帰国したばかりの先生が、「何かが起り始めている」という力強いお話をしてくださいました。瀬戸の皆様は、毎週私のメッセージを聴かなければならない宿命にありますが、どうか主任牧師である大川先生の説教にも、ふれ続けていただきたい。その中で、「DNA が変えられるように祈る」という話題がありました。ルカ 1 9 章、イエス様がザアカイの家に泊まってくさった時、「きょう、救いがこの家にきた」と宣言された。ザアカイひとりではなく、家全体に変化が起った。病気や貧しさ、怒りや悪い癖、そして「伝道は難しい」という不信仰の DNA (体質) を変えるため、イエス様は十字架で命を捧げてくださいました。

この瀬戸の群れは、カルバリーチャペルの DNA を受け継ぐ特権にあずかっています。なんと言っても、その DNA の一番は「明るく、元気で、のびのびと」。先週の歓迎・昼食会も、笑いありユーモアあり、ダークダックスの「銀色の道」の替え歌まで登場し、皆様の温かいおもてなしにふれて感謝一杯の時間でした。

さあ、これからです。初代教会のように、神様を賛美し、すべての人に好意をもたれ(使徒 2 の 4 7)、街中の人が集まってくるような教会生活をご一緒しましょう。明るく、元気で、のびのびと！